「弾く、聴く、読む」クラシックギター愛好家のために

Guitardream

NO. 13
OCT-NOV 2008

ベルタ ロハス
BERTA ROJAS

掲載楽譜収録!!
CD付

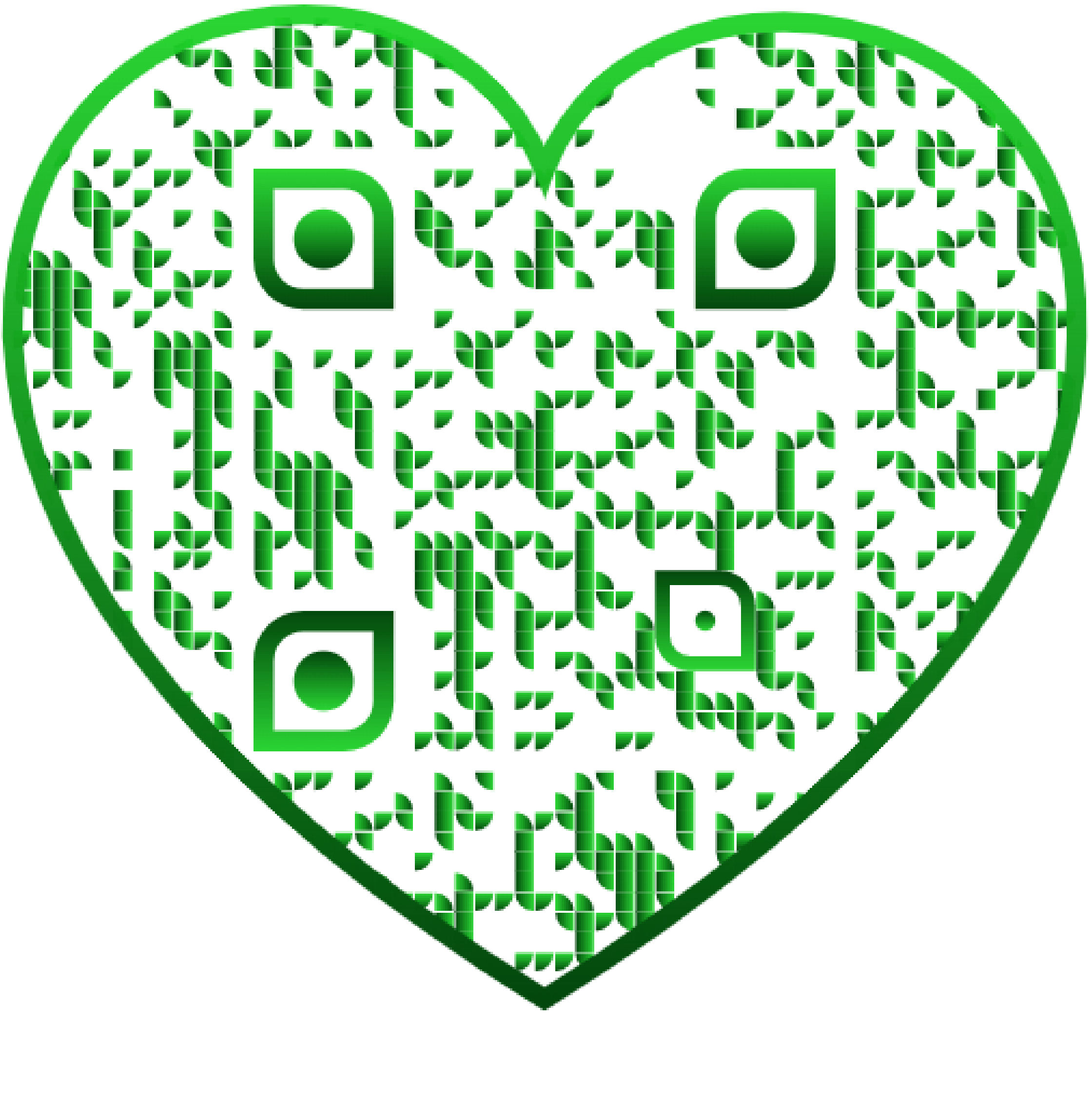
ベラスケス/ベサメ・ムーチョ
エルガー/愛の挨拶
タレガ/ゆりかごの歌
デーレ/すみれの花咲く頃(新12の歌より)
佐藤弘和/ニ長調の3つの小品
メルツ/君を想う
ドビュッシー/メヌエット
二橋潤一/「フレール・ジャック」変奏曲
メキシコ民謡/シェリト・リンド

ギターフェスティバル報告
アメリカ、スペイン、ロシア

話題のアーティスト
アンサンブル・トリコロール

クラブ・マリアデュオ 「今日も元気、ギターが楽しい」
本木盛夫

HOMA dream



CD 収録曲目一覧

TOTAL: 73'38

Besame Mucho **Consuelo Velazquez - Noriyasu Takeuchi**	**1**	03'42	ベサメ・ムーチョ **ベラスケス〈竹内永和・編曲〉**
Sault d'amour op.12 Edward Elger **- Noriyasu Takeuchi**	**2**	02'49	愛のあいさつ **エルガー〈竹内永和・編曲〉**
Etude no.1 **Hirokazu Sato**	**3**	03'51	練習曲第 1 番 **佐藤弘和**
Miss Bailly op.125-3 **Mauro Giuliani**	**4**	03'58	ミス・ベイリー op.125-3 **ジュリアーニ**
Wenn der weiße Flieder wieder blüht **Franz Dölle - Ippo Tsuboi**	**5**	03'54	すみれの花咲く頃 **デーレ〈壺井一歩・編曲〉**
Three pieces in D Major **Hirokazu Sato**			二長調の 3 つの小品 **佐藤弘和**
1. Canon	**6**	01'37	1. カノン
2. Lullaby	**7**	02'55	2. ララバイ
3. Musette	**8**	01'28	3. ミュゼット
El Columpio (D Major) **F. Tarrega**	**9**	02'40	ゆりかごの歌 (二長調版) **タレガ**
El Columpio (G Major) **F. Tarrega**	**10**	02'44	ゆりかごの歌 (ト長調版) **タレガ**
No.16 from 24 Leçons of Method op.27 **F. Carulli**	**11**	02'50	24 のデュエットより第 16 番 (ギター教則本 op.27 より) **カルッリ**
Ich denke Dein (Nänien. Trauerlieder) **J.K. Mertz**	**12**	05'20	君を想う **メルツ**
Variations sur chanson populaire Français **Jun-ichi Nihashi**	**13**	01'16	「フレール・ジャック」変奏曲 (第 4、第 5 変奏) **二橋潤一**
Menuet de Petite Suite **C. Debussy -Ippo Tsuboi**	**14**	03'07	小組曲よりメヌエット **ドビュッシー〈壺井一歩・編曲〉**
Cielito Lindo **Mexican Folksong - Nobuyuki Hirakura**	**15**	03'16	シェリト・リンド **メキシコ民謡〈平倉信行・編曲〉**
Dream Child **Hirokazu Sato**	**16**	06'49	ドリーム・チャイルド **佐藤弘和**
Fantasia X que remeda el arpa de Ludovico **Alonzo Mudarra**	**17**	02'23	ルドビーコのハープを模したファンタジア **ムダーラ**
Weber Heiss Boarischer **Austrian Folksong - Masaki Karasawa**	**18**	03'02	Weber Heiss Boarischer **オーストリア民謡〈唐沢正紀・編曲〉**

150th Anniversary of Anton Diabelli's death

アントン・ディアベッリ (1781-1858) 没後 150 年企画

Four Rondinos op.140 **Anton Diabelli**			4 つのロンディーノ op.140 **ディアベッリ　弊社 HR1112「妖精のロンド」より**
Allegretto c-moll	**19**	02'47	アレグレット・ハ短調
Allegretto Es-Dur	**20**	02'45	アレグレット変ホ長調
Allegro F-Dur	**21**	04'23	アレグロ・ヘ長調
Allegretto C-Dur	**22**	05'10	アレグレット・ハ長調

Player (Guitar) :

Noriyasu Takeuchi (V. Bedikian 1979) **1, 2**
Noriyasu Takeuchi (M. Kohno Terz 1968)
& Katsumi Shimomori (Steinway 2000) **19-22**
Hirokazu Sato (M. Nobe 2000) **3-4, 6-8, 11**
Hirokazu Sato (M. Nobe Terz 1998) **12**
Sachiko Miyashita (Arcangel 2003) **5**
Koichi Kezuka (I. Fleta 1961) **9-14**
Nobuyuki Hirakura (M. Lopez 2004) **15**
Takashi Sato (H. Mizuhara 2000)
& Yumiko Sato (Pf) **16**
Takashi Sato (H. Mizuhara 1994) **17**
Andalucia Guitar Ensemble **18**

演奏者 (使用ギター) :

竹内永和 (V. ベディキアン 1979) **1, 2**
竹内永和 (河野賢テルツ 1968)
& 下森佳津美 (スタンウェイ 2000) **19-22**
佐藤弘和 (野辺正二 2000) **3-4, 6-8, 11**
佐藤弘和 (野辺正二テルツ 1998) **12**
宮下祥子 (アルカンヘル 2003) **5**
毛塚功一 (I. フレタ 1961) **9-14**
平倉信行 (M. ロペス 2004) **15**
佐藤 俊 (水原 洋 2000) & 佐藤由美子 (ピアノ) **16**
佐藤 俊 (水原 洋 1994) **17**
アンダンルシア・ギターアンサンブル **18**

広告インデックス

IGP ………………………… p.91
ギターショップ・アウラ …… 口絵 3
アンサンブル・トリコロール … 表 3
今井勇一 ………………………… p.60
Ut Orpheus Edizioni ………… p.60
Editions Orphee ……………… p.60
La Guitarreria ………… p.33
黒澤楽器店 ……………………… 口絵 1
黒澤澄夫・哲郎 ……………… p.60
ジーアンドエム …………… p.51
Chanterelle Verlag ………… p.91
庄司清英 ………………………… p.91
ショップ松下＆ギター教室　p.51
Musikverlag Doblinger ……… p.51
日本ギター合奏連盟 ………… p.34
日本弦楽器製作者協会 ………… 表 4
宮下祥子 ………………………… p.51
ミューズ音楽館 ………… p.91
ムジークゾリステン ……… p.60
メディアカーム ………… p.51
山下暁彦 ………………………… p.60
吉住和宏 ………………………… p.51
りとるかりん ………………… p.59
(株) ワシントン企画 ……… p.34

次号の発売日は 2008年12月5日〈金〉です。

ギタードリームは全国有名楽器店、ギター専門店でお買い求めできます。
書店では取り扱っていません。入手が難しい場合は弊社から直接購入することができます。
右記弊社住所、Fax により申し込むか、弊社ホームページから申し込んでください。

Guitardream

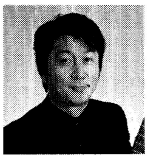
ギタードリーム No.13 2008 年 10/11 月号
2008 年 10 月 5 日 (第 3 巻第 5 号) 定価 1,470 円 (税込み)
ISBN978-4-86247-713-2 JAN45601840871337

編集・発行人: 菅原 潤
発行所: 株式会社ホマドリーム
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-21-6-101
TEL: (03)6303-6151 FAX: (03)5951-3555
E-mail: info@homadream.com
URL: www.homadream.com
印刷・製本: 株式会社 平河工業社
表紙・紙面デザイン: サトウデザイン室
写真: tama
楽譜浄書: 神野浄書技研、菅原 潤
音源録音・編集: 毛塚功一

(C) 無断転載、複製を禁ず JASRAC 0812533-801
(C) 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo. All Rights Reserved. Printed in Japan.

Cool Arrangements by Noriyasu Takeuchi

13 竹内永和のクール・アレンジメンツ



東京都生まれ。早稲田大学文学部卒業。1980年、第7回ギターコンクール第1位。1982年、第25回東京国際ギターコンクール第3位。レオ・ブローウェル、オスカー・ギリアのマスタークラスに参加し研鑽を積みコンサート活動を開始。アレンジャーとしても、現代ギター誌に連載を始め、スウェーデンのギタリスト、セルシェルの2枚のビートルズ・アルバムにアレンジを提供（ドイツ・グラモフォンよりワールド・リリース）。下森佳津美とのデュオ・シルフィードでの活動の他、ヴァイオリン、フルート、コントラバス等との共演多数。これまでにギターを故石月一匡、竹藤嘉の各氏に師事。

ベサメ・ムーチョ

ラテンポップスを代表するナンバーであり、世界中のさまざまな言語に翻訳され歌われている大ヒット曲。メキシコの女流作曲家＆ピアニスト、コンスエロ・ベラスケスの作品。

コンスエロは、一般的に1924年8月29日生まれ、2005年1月22日没とされているが、本人は1920年生まれと語っており、なおかつ遺族の話では実際は1916年生まれだったという。遺族(息子のセルジオ・リベラ)の証言によると、88歳で亡くなったということであり、長寿をまっとうした人生であったと言えそうだ。

この名作《ベサメ・ムーチョ》は1941年の作品。コンスエロ本人によるレコーディングもあり、ジャケットには美貌のコンスエロがはっきりと写っている。作曲者コンスエロ自身の演奏はいろいろな形で残っているが、初期のピアノのインストゥルメンタルによる録音が、ピアニストとしての彼女の多彩な表現力を鮮やかに伝えていて興味深い(1955年発売のRCA盤)。

コンスエロ以外のレコーディングでは、ジミー・ドーシー楽団によるものが重要で、作曲された直後の1943年、英語詩を付けて歌われたレコードは、アメリカで大ヒットを記録した。

「キス・ミー・マッチ」と歌われ一躍有名になったこの《ベサメ・ムーチョ》は、その後、さまざまなアーティストによって取り上げられる。ラテンの王様ザビア・クガート、メキシコのボレーロのヴォーカルグループ、トリオ・ロス・パンチョスなど日本でも人気のラテン・アーティストにより録音されたが、特にパンチョスによるものは、独特のレキントギターによるイントロと共に深く日本人の心に刻み込まれ、愛されている。またビートルズもこの曲を昔からレパートリーとしており、アルバム「ザ・ビートルズ・アンソロジー1」で彼らの演奏を聴くことができる。

日本盤の録音が発表されたのは昭和25年(1950年)。オリジナルが作曲された1941年当時は戦争中であったため、戦後、進駐軍の放送などにより、この曲の存在を知ることとなったからである。

今回のギターソロ・アレンジは少しモダンな雰囲気で、しかもシンプルに演奏できるよう考えたものである。イントロのリズムパターンを、全体を通してキープするような気持ちで弾ければ、良い結果が出ると思う。

愛のあいさつ

《威風堂々》などで知られるイギリスの作曲家エドワード・エルガー(1857-1934)作曲の美しい小品。

父親が楽器店を経営しオルガニストでもあったため、幼少時より音楽に触れる機会の多かったエルガーは音楽の道を志すも、なかなか生計を立てるのは難しく、ヴァイオリンやピアノを教えて作曲活動に励んでいたという。

そんな中、ピアノの教え子であったキャロライン・アリス・ロバーツから贈られた詩「愛の恵み」に答える形で作られた曲がこの《愛のあいさつ》である。

1888年、エルガーが31歳の時の作品で、曲をプレゼントしたキャロラインとは、翌1889年にめでたく結婚した。そしてこの曲は1890年、2人の間に生まれた娘カリスに献呈されている。

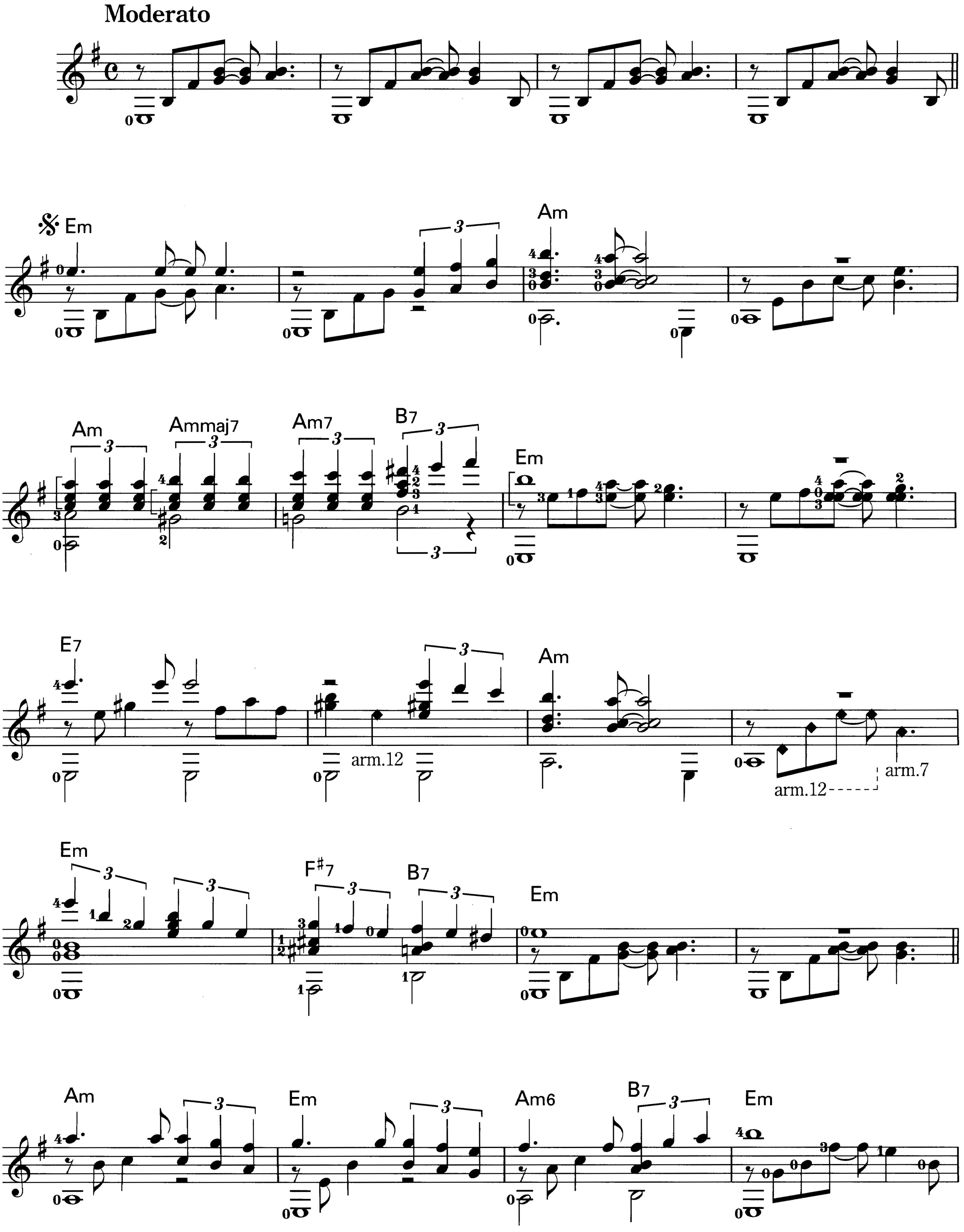
《愛のあいさつ》は最初、ピアノ独奏曲として発表され、後にピアノ連弾版、管弦楽版が作られた。曲はホ長調4分の2拍子。シンコペーションの2小節の前奏の後、ロマンティックで優雅なテーマが登場する。中間部はト長調に転じ、巧みな和声進行で再びホ長調のテーマが戻ってくる。

01 付録CD トラックNo.

Besame Mucho

ベサメ・ムーチョ

Consuelo Velazquez
arr. by Noriyasu Takeuchi



© Copyright 1941 by PEER INTERNATIONAL CORP.
International Copyright Secured. All Rights Reserved.
Riights for Japan administered by PEER MUSIC K.K.

Am
Em
F♯7
C7
B7
arm.7
Em
Am
Am
Ammaj7
Am7
B7
Em
E7
arm.12
Am
arm.12
arm.7
to Coda
Em
F♯7
B7
Em
Em
pizz.
D.S.
Coda
Em
F♯7
B7
rit.
Em
arm.12
nat.
molto rit.
Em9

02 付録CD トラックNo.

Salut d’amour

愛のあいさつ

Edward Elgar, op.12

arr. by Noriyasu Takeuchi

Tempo I
pp
cresc.
p
cresc.
pp
cresc.
mf
ff
f
ff
accel.
cresc. molto
rit.
ff
rit.
p
pp
Tempo più lento
pp
più lento
ppp
rit.
a tempo
rall. e dim.
pp

12の練習曲プロジェクト

これで実力アップ!!

Twelve Etudes by Hirokazu Sato

1966年、青森県弘前市生まれ。弘前大学教育学部音楽科卒業。ピアノ、作曲等を学ぶ。ギターを渡辺範彦、永島志基、各氏に師事。90年新人賞選考演奏会で第2位入賞。同年、自作曲がPTNAヤングピアニスト・コンペンションの課題曲に採用される。91年、デビューリサイタル。現在、教授、演奏、編曲、作曲で活動。

佐藤弘和

今回から2年にわたり「12のエチュード」を完成させるという壮大な(!?)プロジェクトが始まります。よろしくお付き合いください！

まず、「12のエチュード」と言えば何をおいてもヴィラ=ロボス。作曲するに当たっていつもこの作品を念頭におき、良い意味で手本にしつつ、自分なりのテイストも出せたらと思います。

これらのエチュードはこれまで連載したメソッドに比べるとテクニック的に急に難しくなるかもしれません。その間を補うために、初級〜中級レベルの曲を「今月の楽譜」で別に掲載していくことにします。

エチュード 1 アルペジオ

最初の練習曲は、僕の大好きな「アルペジオ」。ヴィラ=ロボスの第1番もアルペジオの練習曲として有名ですが、何よりも全弦にわたる複雑な右手の指使いをパターン化したことがすごい。僕の練習曲ではある程度のパターンを持ちながらも、結果的には柔軟に変化していくことを求められる…ようなスタイルになっています。これはメロディーやハーモニーの音楽的な流れを追って作曲したためで、テクニックのみにこだわったわけではないからです。以降の練習曲もそんな感じになるでしょうか…。

では細かく右手パターンを分析してみましょう。

・パターン1 1

最初の４つの16分音符を*ppim*で、そして*ami*が4回続くパターン。*a*でメロディーラインを弾くような感じになっています。右手指使い、リズム的にはこのパターンが全曲を支配します。でも、1では⑤〜①弦、2では⑥〜②弦、3 4では全弦というように、弾く弦は絶えず変化します。

・パターン2 10

最初の*ppim*に続き、*api-mpi*と*p*が入ってくるパターン。パターン１で弾けないこともないのですが、巻き弦(④弦)を含むのでこのほうが弾きやすいです。

・パターン3 12

最初は*pima*、次にメロディが低音になり*pim*が4回続くパターン。さらに13 14では最初の*p*で2つの音(重音)を弾くようになります。後の20も記譜は違っていますが指使いはまったく同じです。

・パターン4 16

基本的にはパターン１に近いのですが、スラーがあるため2拍頭の音は弾かず、最初も*pima*と*p*が1回省かれます。

・パターン5 22

音楽上の流れから生まれた、僕も予想していなかったパターンです。リズムも5+5+6となり*ppima* (*m*)を繰り返す変則的なもの。22〜29は音楽的にももっとも盛り上がるところで、興奮すると思いますが、同じテンポを保って弾かなくてはならないという難しさがあるでしょう。

・その他のパターン

8 19 34〜35に見られる3度を積み重ねたようなつなぎのアルペジオ。僕の2重奏作品《12の前奏曲》第1曲で好んで使用しているパターンです。指使い的にはスラーを含むランダムなパターンになります。

慣れてくるとこれらのパターンは特殊なものではなく、自然に考えられる範囲の指使いということに気がつくと思います。「柔軟な右手の指使いを習得すること」がこの練習曲の最大のポイントと言えるでしょう。頑張ってください！

加えて演奏上の課題を提言しておきます。リズムを4+3+3+3+3、5+5+6のように分けて感じてももちろんよいのですが、あくまで1小節に音が16個あるという“16ビート”の感覚で弾くということ。これによって安定したテンポ感が生まれます。メトロノームに合わせて確かめながら練習するなど、工夫して練習してください。

03 付録CD トラックNo.

Etude No.1

Hirokazu Sato

Allegro

C.1
C.5
C.7
arm.12

¢.5
rit.
a tempo

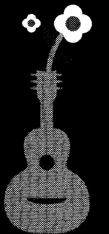
SKILL UP TECHNIQUE by Koichi Kezuka

テクニック再考

ギターのツボ

毛塚功一

第13回 ポジションについて 2



1960年宮城県石巻市生まれ。故菅ノ又信太郎、湯下節男、故久坂晴夫にギターを師事。77年第3回東北ギターコンクールで第1位、78年新人賞選考演奏会で新人賞を受賞。82年デビューリサイタルを行ない、関東を中心に演奏活動を開始。1995年東京ギターカルテットを結成。CDに「タレガ：前奏曲と練習曲」「ソル：24の練習曲 op.6&29」など多数。成城学園中学校非常勤講師。日本ギタリスト協会委員。

前回説明した「基本形での各指の開き」と「縮小と伸張」をふまえて、さらに進んだ段階に入っていきましょう。今回はポジションの「移動とスピード」に関して考えてみます。日頃、無意識にやっているポジション移動にはとても奥深い要素が含まれています。例えば、ポジション移動でよくミスをする傾向にある人、逆にポジション移動が多い曲のほうが楽に弾けるという印象を持つ人がいるという事実…。これらはポジションに対する各人の認識の差から生じます。ここでは理論的な話を省いて、手の動作のノウハウを述べてみます。

移動のスピード

ジョン・ウィリアムズは「左手の難しい点は、ポジションを素早く正確に移動すること」と言いました。いささか乱暴な感じもしますが、なるほど正論です。移動の精度とスピードの底上げは歓迎すべきことです。

メカニズムとしてどれだけ精度の高い移動が可能なのか知ることから始めましょう（**譜例1**）。「３指を目的の位置に運ぶ」イメージです。移動時間はできるだけ短く（音符が鳴っている割合をできるだけ長く）、肘を十分に使い、弦の水平方向に沿ってスライドします。3指の押圧は軽く、しかし弦上から脱線しないように。この例では移動の最大幅は7フレット分（P.1～P.8）に及びますが、視線は一足先に移動先をとらえておくようにします。位置の認識には「見る」ことが最も有効だからです。

さて、**譜例1**は目的の位置に運ぶ意識で処理しましたが、ここにポジションの考え方を導入すると**譜例2**のようになります。現実にはすべての音をポジション内でとらえるわけではありませんが、ある時には調性や和音を背景として、また追加される音との位置関係などから、譜例内の各音をポジションでとらえることで、位置の認識や正確な移動をサポートする体制が整います。

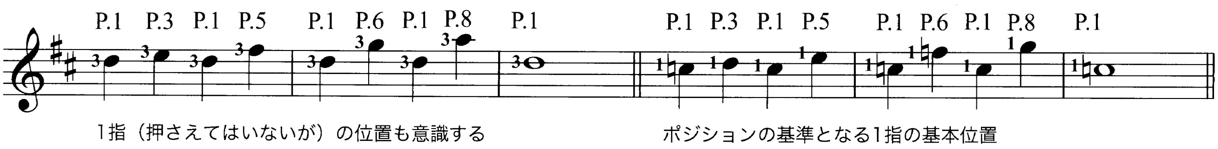
まずはスピードアップから

ポジション移動で遅れるという人の多くは、移動スピードそのものが遅いようです。少々乱暴ですが、移動先のポジションを意識した素早い移動を心がけて練習してみます。

譜例3a はソルの《ギャロップ》から引用しました。あまり例のない往復の移動が出てきます。第7ポジションから1ポジションを経て再びポジションアップしま

譜例1　移動の正確さとスピードを試す

譜例2　ポジションを意識した移動



譜例3　基本動作として移動の動作は素早く

すが、このような連続した移動は鈍重になりがちです。特にポジションダウンは肘の動きに加え、指先から先行するイメージで移動する必要があります。ポジションアップはスタートのソをしっかりと発音し、やや加速気味に移動することでグリッサンドが効果的に演奏できます。いずれにしてもギャロップのリズムを乱さないように瞬時に移動しなければならない難所の1つです。

譜例3b はモッツアーニの《フェステ・ラリアーネ》です。ここでは第1変奏から引用しました。テーマと違い分散和音で弾かれるこの変奏は、裏拍にあたる①弦上４指のメロディーから④弦上２指の弾弦までにポジション移動を完了しなければいけません。拍に遅れをとらず、かつメロディーを少しでも保持するには素早い移動が必要です。オクターブの型を維持しつつ移動するところでは、ネックと手のひらの位置関係を保って平行移動するよう注意します。第9～10ポジションへの移動には、「左手と横板（ギターの肩）の接触」に委ねる方法があります。その位置が概ね第9～10ポジションなので、移動先で迷わないために有効な方法です。

譜例3c はペルナンブーコの《ショーロ》です。移動先でミスが出やすい所です。曲のテンポは幾分ゆったりしており、《ギャロップ》などに比べるとスピード任せの気を張ったポジション移動は不要ですが、ここではメロディーを滑らかにつなぐ配慮としての速い移動が必要です。移動の前後でガイドになるような軸指がないためメロディーが途切れたり和音でミスが出やすいところです。対策としては移動前のソを押している2指（軸指に設定）をポルタメントしつつポジションダウンします。その際に１指は⑥弦上に乗る準備として低音弦よりに伸ばしておくのがよいでしょう。

譜例3d はディアンスの《タンゴ・アン・スカイ》の最後の1小節です。この移動は2指が第２フレットから第16フレットへと瞬時に移動します。これだけの移動をする例はほかに見あたりません。また曲の最後の部分ですから、遅れたり外したりしたら名演奏も台なしです。実は私は1度だけ大失敗したことがあります(笑)。

曲のテンポ設定にもよりますが、移動前のラをスタッカートして移動にかける時間を少しでも捻出する対策が1つ。ほかにはギターの肩に置いた親指をポジションの基準として2指と3指（16フレット上の和音）までの距離を体で覚える方法があります。あるいはその両方を駆使し、遅れないように移動したいところです。前でも述べたように目の動きも大切です。「探しながら」の移動では間に合わないので、視線を先に置いておくことが大切です。

Play with Artistic Sense
芸術性を高める
マエストロ養成講座

Text by KATSUMI KAWAMATA
川俣勝巳

ギターを渡辺範彦、和声学を二橋潤一に師事。'87 年北京ギター学会より中国に招聘。現在、「川俣ギター教室」を主催し、東京多摩地区を中心に「ギターサークルたちかわ」をはじめ多くのアマチュア市民サークルおよび大学のクラブ等の指導・指揮をし、ギターアンサンブルの分野の発展と向上に力を注いでいる。
CD「ギターによるベートーベン《運命》全曲初演ライブ」（指揮：川俣勝巳 ギターサークルたちかわ、ケンレコード）、作曲・編曲／陳志編「古典ギター独奏重奏曲精編」（共著、中国上海音楽出版社）、同曲集 CD「クラシックギター・ニューワールド」（演奏：毛塚功一、ケンレコード）、「ギターアンサンブル・レパートリー１～4」（共著、現代ギター社）。

第13回　ジュリアーニ《ミス・ベイリー》

ジュリアーニの《６つのアイルランド民謡 op.125》より、第5曲《ミス・ベイリー》です。日本では知られていない曲ですね。

《春の日の花と輝く》《庭の千草》が変奏曲の形をとっていたのに対し、この曲は少し変わっています。原曲が判らないので断言できませんが、おそらく24までが民謡（少し形を変えてロンドのように何回か登場する）の部分で、他はジュリアーニによる創作と考えられます。24までは歌謡的ですが、それ以外のメロディーは非常に器楽的だからです。おそらくジュリアーニは、曲集（op.125）の他の曲との変化を意識し、変奏曲の形はとらずに、この民謡をモチーフの1つとして扱う作品をこしらえたのではないでしょうか。

押弦に左手の親指も使った１９世紀ギター

現在では押弦に左親指を使うことはありませんが、ジュリアーニの頃はよく使われていました。当時のギターは現在のギターより小型でネックも細く、エレキギターのような感覚で親指も使っていたのでしょうか。出だしの低音などはおそらく親指で押さえていたと考えられます。19世紀ギターをお持ちの方はぜひやってみてください。

連続スタッカートでの伴奏

出だしのメロディーは子供の「遊び唄」を思わせるシンプルなものです。伴奏にスタッカートを付けて軽快さを出すのも良いですね。しかし連続スタッカートによる伴奏は意外と難しいものです。押さえている音は離せば問題ありませんが、「開放弦をどう消すか」が問題になります。*p*でスタッカートを付けるのが一般的ですが、運指を同一弦でとったり、押弦の時、開放弦に触れてスタッカートするなどの方法も考えられますね。

繰り返されるメロディーは変身させて使う

はじめに出てくるテーマや25～32に出てくるメロディも、繰り返し出てくるときは退屈しないように変化を与え、よりテンションが上がるように工夫されています。対旋律が付けられたようなところは、むしろ対旋律のほうを強調するくらいに弾きましょう。

ポジションにより音楽は変わる

40 2拍半からのメロディの運指を考えてみましょう。

41 2拍半で9ポジションにする考えと、はじめから9ポジションでとる考えがあります。後者はずっと同じポジションで弾くことができ、便利な気がします。しかし41裏拍のラ・ド、42 1拍半のミはシンコペーション的な飛び越す力を持っています。弾き比べると41 2拍半で9ポジションにしたほうが良いのではないでしょうか?　他の曲の運指を見ても時々感じるのですが、合理性だけを優先してギターらしさを忘れてしまってはならないと思います。簡単なだけが良い運指ではありません。

129 からジュリアーニらしさいっぱいのコーダに入ります。どんどん盛り上げて華やかに弾き切りましょう。

付録CD
04
トラックNo.

Miss Bailly

from Sei Arie Nazionali Irlandesi Variate op.125

ミス・ベイリー（アイルランド民謡）

Mauro Giuliani, op.125-3

2
40
45
dolce
51
56
61
67
mf
73
sf
sf
sf
f
79
sf
sf
sf
f

85
91
97
dolce
104
cresc.
111
118
124
129

4

Repertoire of Guitarists

ギターグルメのためのレパートリー

付録CDに模範演奏が収録されています。

フランツ・デーレ（壺井一歩・編曲）
すみれの花咲く頃

アルペジオを交えた後半部分は、とりわけ自由な呼吸でアレンジを施してある。メロディを歌おうとするとき、アルペジオはただの伴奏にとどまってはいけない。私事だが、この歌は宝塚に住んでいた子供の頃、祖母が歌う鼻歌だった。少しばかりセンチメントなエコーが聞こえる気がするのはそのためかもしれない。（壺井一歩）

フランシスコ・タレガ
ゆりかごの歌

ほとんど演奏されることのない「隠れた名曲」。さらにト長調の版があることには驚きました。「ゆりかご」と聞けば子守歌を連想します。多くの子守歌は6/8拍子で書かれていますが、ゆりかごに揺られている様子を思えばそれも肯けます。はたしてタレガの《ゆりかご》は…2/4拍子のLentoなんですね。とは言っても、低音の奏でるリズムはゆったりとした印象で、シューベルトの子守歌を思わせるような揺れが感じられます。ニ長調は母の歌う、ト長調は父の歌う子守歌、そんなイメージで演奏してみました。（毛塚功一）

佐藤弘和
ニ長調の3つの小品

前回で連載の終わったメソッドですが、次の段階の応用曲というイメージで作りました。例えば発表会などでも使える…が理想です。これからどんどん同レベルの小品を作っていきますのでお楽しみに！　今回は⑥弦をレに下げたニ長調の小品3曲。《カノン》は上と下の掛け合いをはっきりと。同じメロディを追いかけているのが、聴く人にもわかる演奏を心がけましょう。《子守歌》はゆったり&たっぷりの演奏を。ただ単に遅いのではなく、“ゆらぎ”の感じられる前向きなテンポで。《ミュゼット》は⑥&④弦のレを親指で常時往復して弾く練習です。最初は難しく思えるかもしれませんが、慣れると意外に楽。スタンダードなギターテクニックの1つです。（佐藤弘和）

フェルディナンド・カルッリ
24のデュエットより（ギター教則本op.27より）

第16番はアンサンブルらしい“対話”を学ぶ1曲と言えそうです。アンダンティーノはゆっくり“め”くらいにとらえるとよいでしょう。ただし6/8拍子ですから2拍子系のリズムがゆっくりめであるということです。[8]からのフレーズでは先生パートの16分音符を聴きながら8分音符をピタリと上に重ねていきましょう。加えて横のレガートな流れや和声のグラデーション的な変化も感じて演奏に反映できるとよいですね。[45]からの長いやりとりは単純に音形の往復を弾くだけではなく、そこにどんな和音進行が入っているかを調べたりすると、よりレッスン的な展開があると思います。（長谷川郁夫）

ヨーゼフ・カスパル・メルツ
君を想う

《挽歌（哀悼の歌）》の第2曲。ここでは悲劇的な要素はなくなり、亡き人との美しき思い出を微笑みをもって偲んでいる…そんな雰囲気に満ち溢れています。スタイルは無言歌とも言えますが、本家メンデルスゾーンよりもメルツのほうがずっとロマン的性格が強く、それだけにギター作品の中でも貴重なロマン派のレパートリーと言えるでしょう。Adagioのコラール風な主題で始まり、[17]から表情豊かな動きのあるメロディーとなります。ごく普通のように感じられる[35][43]に「悲しげにtristamente」の指示。大切に気持ちを込めてデリケートに弾く部分です。[48]～[56]で一時暗く陰るものの再び最初の主題に戻り、簡潔なコーダ（[88]以降）を伴ってアーメン終止で幕を閉じます。あくまで穏やかに。（佐藤弘和）

二橋潤一
「フレール・ジャック」変奏曲第4、5変奏

最後の2つの変奏です。変奏4, 5は続けて演奏されます。今回は少々現代的な響きを使ってみました。不協和音にもよく響くもの、響かないものがあります。なるべく美しい不協和音になるよう試みました。（二橋潤一）

メキシコ民謡（平倉信行・編曲）
シェリト・リンド

[A]はゆったりとしたイントロです。各パートを十分に響かせてください。[B]のアウフタクトから速いテンポになります。[C]での3rdはアルペジオの2拍目裏のアクセントを生かして、リズムの面白さを出してください。[E][F]は8小節ずつの循環コードでできています。アドリブで弾いてオリジナルカラーを出すのもよいでしょう。[G]の1st, 2ndは2拍子をしっかり保ってください。アクセント以外の音を弾くときは、左手を少し浮かせる（弦から離さず）ようにしてmuteします。

全体的にリズムを前面に出して楽しさが伝わるように演奏しましょう。（平倉信行）

クロード・ドビュッシー（壺井一歩・編曲）
小組曲よりメヌエット

ドビュッシー初期のピアノ連弾作品《小組曲》から第3曲《メヌエット》です。《月の光》《アラベスク》などポピュラリティあふれる作品が数多く生み出されたこの時代の作品の中でも、1度聴けば忘れない佳曲の1つでしょう。作品は3部形式ですが、同じ表情で再現されることはあまり多くありません。それぞれの場所にふさわしいアプローチを考えてください。（壺井一歩）

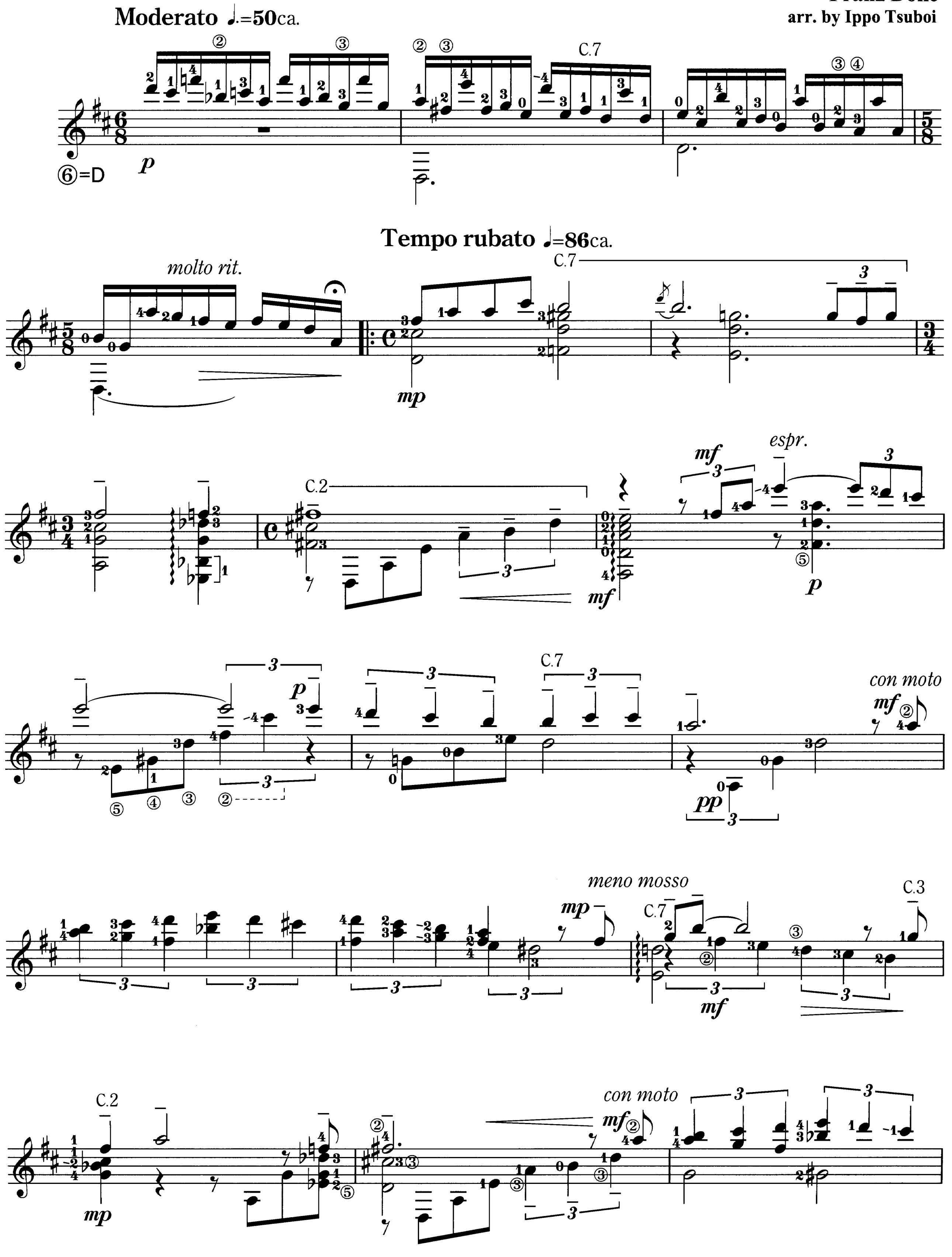
05 付録CD トラックNo.

Wenn der weiße Flieder wieder blüht

すみれの花咲く頃

Fingered by Sachiko Miyashita

Franz Dölle
arr. by Ippo Tsuboi



© Copyright 1967 by BOSWORTH & CO., LTD., London, England
Rights for Japan controlled by Shinko Music Publishing Co., Ltd., Tokyo
Authorized for sale in Japan only

meno mosso
C.9
molto rit.
C.7
C.6
Tempo I
mp
pp
rf
poco rit.
C.2
C.5
mf
p
f
a tempo

harm.12
mp
p
mf
C.7
rf
f
C.10
C.3
C.2
harm.5
molto rit.
meno mosso
nat.
harm.7
C.1
art.
harm.22
押さえたまま
ハーモニックス
8va
nat.
harm.19
art.
harm.26
art.
harm.23
C.4

06 付録CD トラックNo.

Three Pieces in D major

1. Canon

カノン

Hirokazu Sato (2008)

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Print in Japan.

07 付録CD トラックNo.

2. Lullaby

子守歌

Hirokazu Sato (2008)

Larghetto

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Print in Japan.

08 付録CD トラックNo.

3. Musette

ミュゼット

Hirokazu Sato (2008)

Allegretto

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Print in Japan.

09 付録CD トラックNo.

El Columpio (en Re Mayor)

ゆりかごの歌（ニ長調）

Fingered by Koichi Kezuka

Francisco Tarrega
1852-1909

10 付録CD トラックNo.

El Columpio (en Sol Mayor)

ゆりかごの歌（ト長調）

Francisco Tarrega
1852-1909

Fingered by Koichi Kezuka

11 付録CD トラックNo.

24 Leçons

pour deux guitares

Ferdinand Carulli, op.27

16me. Leçon

Andantino

55
60
p
65
69
f
73
77

12 付録CD トラックNo.

à Josef Floderer

Nänien. Trauerlieder

挽歌（哀悼の歌）

Joseph Kaspar Mertz

2. Ich denke Dein

君を想う

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

24
a tempo
dim.
rit.
H
dolcissiomo
rit.
28
cresc.
a
poco
dim.
sul D
loco
cresc.
32
tristamente
tristamente
36
39
a tempo
loco
espress.
dim.
dim. e rit.

tristamente
tristamente
cresc.
dim.
con dolce
con dolce

58
63
68
dolce
73
espressivo
sul H
77
dolcissimo
dim.

81
Flag. loco
ten.
Flag. loco
84
calando
87
dolce
90
93
con anima
con anima
rit.
dim.
rit.
dim.
Wien, 28 May 1850

continued from the previous issue　前号の続き

付録CD 13 トラックNo.

Variations sur chanson poplaire Français: Frere-Jacques
pour trois guitares

「フレール・ジャック」変奏曲

Jun-ichi Nihashi

Variation IV

Allegro

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Print in Japan.

un poco meno mosso
17
rit.
mp
21
25
Tempo I
rit.
mf
29
33
ff
attacca

Variation V

Menuet

de Petite Suite

小組曲よりメヌエット

14 付録CD トラックNo.

Claude Debussy
1862-1918

Arranged for four guitars by Ippo Tsuboi

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

19
23
pizz.
ord.
28
cresc.
32
gracieux

36
p
40
pp
mf
tr
44
mf
dim.
p
cresc.
48
f

52
pp
pp
p
p
p
p
p
56
più p
più p
più p
più p
dim.
dim.
dim.
rit.
a tempo
60
p
p
p
p
64
sempre p
sempre p
sempre p

68
pp
pp
pp
pp
73
p
pizz.
ord.
p
pizz.
ord.
p
pizz.
ord.
p
più p
78
dim.
molto dim.
pp
dim.
molto dim.
pp
dim.
pp
molto dim.
pp
83
ppp
pppp
pppp
ppp
pppp
ppp
pppp

15 付録CD トラックNo.

Cielito Lindo

シェリト・リンド

Mexican Folksong

Arranged for four guitars by Nobuyuki Hirakura

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Print in Japan.

19
25
C
31
f
37
mf
pizz.
pizz.

43
nat.
nat.
D
49
f
56
pizz.
a m i
i
i
61
E
mp
strike strings
i
i
pizz.
Fine

66
72
nat.
pizz.
mf
f
78
F
only 2nd time
Strike body by wrist
1st time mf
2nd time mp
nat.
84

90
95
G
mute
101
107
D.S. al Fine